

第5期麻生区区民会議 第11回企画部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年11月6日（金）午後3時05分～午後4時55分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[委員]
岡倉委員、金光委員、白井委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員、林委員
(欠席委員) 上野委員、
[事務局]
麻生、佐藤、榎本
- 4 傍聴者 0名

5 配布資料

- | | | |
|----|---|-----------------|
| 資料 | 1 | 各専門部会議事要旨 |
| | 2 | 第6回全体会議次第(案) |
| | 3 | 各専門部会全体会議報告書(案) |
| | 4 | 区民会議フォーラムについて |
| | 5 | 区民会議ニュース3号(案) |
| | 6 | 区民会議に寄せられたアンケート |

参考資料

- 1 第10回企画部会議事要旨

6 議事

(1) 専門部会の検討経過報告

ア 若い世代が住みたくなるまちづくり部会

【説明事項】

・白井部会長から、資料1-1により第11回部会の内容について報告。コンサルタントから子育てフェスタのアンケート結果について説明。結婚をきっかけにという内容が一番多かった。アンケート結果から、住みやすいことや人間関係等がよいので、麻生区に魅力を感じている人が多いことがわかったのではないかと。「芸術のまち」については、あまり浸透していない。他区のまちづくり協議会の人等から見ると、麻生区は芸術のまちとして認識がされているが、一般の人から見ると芸術のまちとして認識されていない印象がある。麻生区の魅力のブランド化とPR方法について、具体的な案は次回部会で検討していく。また、4大学へヒアリング調査結果について報告。映画大学は、映画を作る上で人と関わることが多く、コミュニケーション能力が必要であり、他の一般学生とは気質が違うのではないかと。寮について、昔は4人部屋や2人部屋が普通であったが、最近は1人部屋が主流となってきており、学生の気質が変わってきていることがわかる。次回部会で、空き

家の利活用について、結論を踏まえた検討を行う。

(主な意見)

- ・予想していたよりも、住みやすさや地域との関係性が良好な人が多いからか、麻生区に魅力を感じていることがわかった。
- ・昭和音楽大学での子ども向けコンサートは会場が満員になるくらい盛況であるため、「芸術のまち」の一場面として見ることはできるが、あまり浸透していない現状がある。
- ・コンサートはプロが演奏するものが多いので、市民レベルで一緒に参加できるものがあるとよいと思う。
- ・麻生区の町内会などは排他的なことはせず、新しい住民が入りやすい状況がある。
- ・しんゆりマルシェにも若い人が多く参加しているので、そこでアンケートを取るのもよかったのではないか。
- ・空き家の利活用について、需要はあると思うので、仕組みがあればよいと思う。

イ 市民活動・地域活動の活性化部会

【説明事項】

・岡倉部会長から、資料1-2により第11回部会の内容について報告。10月31日の「健康づくりのつどい」調査の進め方について確認。パネル意見交換について、①ボランティアに関心があるか②参加したことがあるか③参加したきっかけは何か④どんなきっかけがあれば参加するか⑤気軽に参加できるようになるには、何が必要かについて調査する。「健康づくりのつどい」当日は、ブースを設置し、パネルにポストイットを張り付ける方式で行った。参加者と意見交換することで、様々なことを聞くことができた。127名に話を聞くことができたが、全体の来場者が少ない印象を受けた。次回部会以降に、アンケート結果の分析をしていく予定。

(主な意見)

- ・意見なし

(2) 第6回全体会議について

- ・資料2より、全体会議の次第(案)について確認。

【説明事項】

・資料3-1について、白井部会長より説明。麻生区の魅力とPRについて、流山市への調査や子育てフェスタでのアンケートや大学へのヒアリングを実施して、材料はそろってきたが、今後、どこをPRしたらよいか検討していく予定。空き家については、地元の理解と協力、区の支援があって、シェアハウス等の事業が実施できる。

(主な意見)

- ・空き家の利活用において、音楽大学では、音楽の練習をするために施設の充実が必要になってくる。
- ・和光大学では、寮に入っても1人になりたいと考えて、出ていく人が多く、寮が空いている状態

である。

- ・留学生を寮に入れるのも日本の文化に触れる機会となるので、よいのではないかと。
- ・明治大学では、寮は食費が高いため、個人宅を間借りしたほうがよいのではないかと。
- ・今後の取組は、これから検討していく予定。
- ・子育て世代にとっては、緑や田園のある所は住みたい場所である。麻生区は、日常的な買い物をするには便利であり、農家や里山などもあるので、どうやって外にPRしていくか、戦略が大切になってくる。
- ・事務局と部会長で修正等の調整を行い、全体会議に諮る。

【説明事項】

・資料3-2について、岡倉部会長より説明。ボランティアをしたい人や関心ある人がボランティア活動への一歩を踏み出せるように、気軽に参加できる仕組みを検討。「健康づくりのつどい」でブースを設置し、来場者と意見交換をした。また、麻生老人福祉センターへ現地調査の実施について報告予定。

(主な意見)

- ・インタビューに答えてくれた方の感想を入れた方がよいのではないかと。
- ・質問内容のフローチャートみたいなものがあるとわかりやすいのではないかと。
- ・健康寿命を延ばすのは、ボランティア活動に限ったことではないので、限定的な表現は使わないほうがよいのではないかと。
→今回は、調査の呼び込みのためのキャッチフレーズとして、使用した。
- ・事務局と部会長で修正等の調整を行い、全体会議に諮る。

(3) 区民会議フォーラムについて

- ・互いのテーマが被らないので、今回は、若い世代部会は市民活動部会を応援する形でよいのではないかと。ただし、どんな活動をしているか両部会から報告は行った方がよい。両部会の報告は、パワーポイント形式とする。
- ・市民活動部会では、東京都健康長寿医療センターの藤原氏の活動がテーマに沿っているため、講師として打診していく方向で確認。
- ・藤原氏は、シニアボランティアと子どもたちとの世代間交流が、相互にどのような影響を与え合い、双方にどのような効果をもたらすかを調査する研究をしているので、その部分にも焦点を当ててみるのがよいのではないかと。
- ・日程については、2月下旬～3月上旬を予定しているが、講師の都合で日程を決めることとする。
- ・講師への打診、調整については、市民活動部会の岡倉部会長と事務局とで行う。

(4) 区民会議ニュース3号(案)について

- ・全体的に文字量が多いので、文字を減らして写真の掲載をする。
- ・事務局と岡倉委員でレイアウトについて調整し、11月13日の全体会議に諮り、承認を得る予定。

・発行準備は、11月19日（木）午後1時半からとし、岡倉委員、高倉委員、高橋（慶）委員、事務局で行い、印刷・発行する。

7 その他

○区民会議に寄せられたアンケートについて

・各部会での参考意見とする。

・意見の中では行政が回答できるものもあるので、行政の中で調整してもらう部分もあるのではないかと。

・今後、寄せられた意見については、区民会議ニュースの中で方向性や回答について、掲載していく予定。

以上